

(確認様式1)

交付限度額算定表

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	2,610 百万円	規則第17条第1項に基づく交付限度額(Y)	55,817 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	2,610 百万円
					交付率	45.0 %
					提案事業比率	0.0 %

規則第17条第1項に基づく限度額算定

S 2,172 km²

拠点施設を中心とする半径Rの円の面積(πR^2)

π :3.14

r:最短距離 26

拠点施設から都道府県の境界までの距離 26 km

拠点施設から海岸線までの距離 89 km

r₀: 10 km

R: $r \geq r_0$ ゆえ、 26 km

T 5年

当該広域的な地域活性化基盤整備計画の計画期間

令和2年度 ~ 令和6年度

C 1,028.0 万円/km²・年度

単位面積あたり及び単年度あたりの標準的な投資額

行政投資全国実績のうち、都道府県が主体となる交付対象事業に係るものを全国平均で除したもの(最新5箇年の平均)

S × C × T × 0.5 = 55,817 百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	拠点施設関連基盤 施設整備事業(A)	5,800 百万円
	提案事業(B)	百万円
	合計	5,800 百万円

$\alpha 1 = 9(A+B) / 10 =$	5,220.0
$\alpha 2 = 12A / 11 =$	6,327.3
$\alpha 1 < \alpha 2$ ゆえ、交付限度額(X): $\alpha / 2 =$	2610 百万円

(確認様式1-1)

rの選定根拠(複数の拠点施設が記載されている場合)

※ 計画に記載された拠点施設から都道府県の境界若しくは海岸線までの最短距離
(複数の拠点施設が記載されている場合は、そのうち最も大きい値)

<選定方法>

- ① 各拠点施設から都道府県の境界までの距離:r1、海岸線までの距離:r2を記入
(〇〇群とした場合は群の中心付近からの距離とする)
- ② 最短距離欄に、r1、r2のうち短い距離を記入
- ③ 最短距離のうち、最も大きい値となる拠点施設からのr1、r2を交付限度額算定表に記載する値として選定

(単位:km)

拠点施設名	①		②
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2	最短距離 (r1、r2のうち 短い距離)
徳山ダム	30.4	69.9	30.4
関ヶ原町歴史民俗資料館	3.5	55.6	3.5
桔梗塚	26.3	89.3	26.3
黒野城跡公園	16.4	53.6	16.4
岐阜城	10.1	55.1	10.1
墨俣一夜城	8.5	42.1	8.5
千代保稲荷神社	6.5	30.9	6.5
西高木家陣屋跡	6.5	50.2	6.5
池田温泉	15.7	54.3	15.7
伊吹山	2	58.5	2
揖斐高原貝月リゾート	23.1	71.7	23.1

※ 選定結果(交付限度額算定表に記載する値)

(単位:km)

拠点施設名	③	
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2
桔梗塚	26.3	89.3

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	徳山ダム	所在地	揖斐郡揖斐川町
設置主体	国土交通省	管理・運営主体	独立行政法人水資源機構
拠点施設の区分	観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	地域固有の自然体験の提供 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 78千人		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 徳山ダムは、岐阜県揖斐郡揖斐川町、一級河川・木曾川水系揖斐川最上流部に建設されたダムで、高さ161m・総貯水容量6億6,000万m ³ は日本最大規模であり多目的ダムとしては日本最大である。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 日本最大規模のダムであり、付け替え道路等により交通アクセスも良いため、周辺地域と一体となった観光客の誘致を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 徳山ダムは多目的ダムとして日本一の提高と総貯水量を誇るロックフィルダムとして、全国から訪れる観光客に対し、堤体内見学や観光放流やダム湖でのボート体験、自然環境観察会など地域固有の自然・文化等に関する体験機会の提供を行っている。 令和元年度には、より一層の誘客を図るべく当該施設の所在する揖斐川町が旅行会社と連携して通常は開放していないダム内部見学等の特別な体験ができるツアー「新緑の徳山ダム堤体登坂」「秋の紅葉」「徳山ダムの内部見学」(徳山ダムインフラツーリズム)を販売する等、官民連携での誘致活動を展開しているところである。 また、管理者である水資源機構においても「FIVE ROCK'S 2019 COLLECTION」と題した期間限定イベントを開催する等、誘客へ向けた新たな取り組みを実施しているところである。			
<将来> 揖斐川町と旅行会社、ダム管理所が合同で企画し、令和元年度に開催した「新緑の徳山ダム堤体登坂」は、ロックフィルダムである徳山ダムの堤体を歩いて登るといった体験ツアーであり、通常の見学ではなかなか体験できないツアーを通じて徳山ダムの歴史や大切な役割、自然環境保全の取り組み等が理解できると喜ばれる等の大成功の企画となり、更なる誘致に向けて新たな企画販売に取り組む予定としている。 また、例年ゴールデンウィークに実施している観光放流には2日間で3千人(前年比150%)もの来訪があり、好調に推移しているところであり、旅行会社と連携したインフラツーリズムの取り組みにより、更なる観光入込客数の増加が見込まれているところである。			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	関ヶ原町歴史民俗資料館	所在地	不破郡関ヶ原町
設置主体	関ヶ原町	管理・運営主体	関ヶ原町
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 4.6千人		
拠点施設の整備の有無	有・無	整備期間	令和元年9月～令和2年5月
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 天下分け目の合戦の舞台として有名な国史跡「関ヶ原古戦場」(昭和6年指定)を国内外にPRしていくため、史跡の保存や整備を行う。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 東海環状自動車道の西回りが開通するとされている令和6年度に向け、ネットワークインフラ(高速自動車道)の充実を活かした観光資源の魅力向上に向けた取組を進めることにより、観光客の誘致を進める。高速道路の各IC及び新幹線岐阜羽島駅、JR関ヶ原駅からのアクセスを強化し、観光ルートとして整備を行う。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 関ヶ原町歴史民俗資料館は、慶長5年(1600年)9月15日に、天下分け目の合戦と知られてる「関ヶ原の戦い」が行われた舞台として有名な関ヶ原古戦場を国内外にPRしていくため、当該施設においては、歴史舞台を楽しめる仕掛けづくりにより、戦略的な観光客の誘致を進めている。 毎年春、夏、秋と年の3回資料館周辺の関ヶ原古戦場にて合戦を再現する「関ヶ原合戦絵巻」や「東西人間将棋」や「東西グルメ対決」などのイベントを行っており、年間を通じて誘客に力を入れているところである。 また、平成28年度にはアメリカのゲティズバーク古戦場、平成29年度にはベルギーのワートルロー古戦場と姉妹古戦場協定を結び、歴史的な史跡を維持するための手法・技術の共有や、歴史的品目の展示協力などについて連携を図り、展示品の品質向上や海外古戦場の展示を行うなど、さらなる誘客に向けた取組を行っているところである。			
＜将来＞ 関ヶ原の戦いから420年となる2020年に向けて関ヶ原の新たな観光拠点として、また関ヶ原合戦を紹介し、史跡めぐりにいざなうガイド施設として「岐阜関ヶ原古戦場記念館(愛称:関ヶ原メモリアル)」を令和2年7月に開館を予定している。新施設は、関ヶ原の新たなシンボル拠点として関ヶ原合戦により親しむための中心的な施設であり、関ヶ原に関する正しい知識をわかり易く伝え、周辺の史跡群へのフィールドめぐりを促す役割を担っている。これにより、県内外からの観光客の増加が見込まれ、さらには、新施設の「周辺の史跡群へのフィールドめぐりを促す」というコンセプトからも、岐阜県内だけでなく滋賀県内の関連史跡への観光客の増加も見込まれているところである。 さらに当該施設も岐阜関ヶ原古戦場記念館のオープンに合わせてリニューアルオープンするため、改装中である。			

拠点施設に関する事項

施設名	桔梗塚	所在地	山県市中洞
設置主体	山県市	管理・運営主体	山県市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 1.2千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>桔梗塚は明智光秀の墓とされている。光秀は、本能寺の変の後に身代わりとなった影武者「荒」木山城守行信に恩の「深」さを感じ荒深小五郎と姓名を改めたとされている。その後、関ヶ原合戦で徳川家康に従軍しようと藪川(現・根尾川)を馬で超えようとするときに洪水に巻き込まれ溺死したため、従者たちは秀光の遺品を持ち帰り、墓を建てたとされており、現在も地域住民により毎年供用祭が行われている。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀の前半生は謎に包まれており、岐阜県内各地にゆかりの地とされているところが数多くあり、本拠点施設もその一つである。また、近接している白山神社には、光秀の母が産湯を汲んだとされている井戸や、光秀の母が懐妊したときに「生まれる子が男の子なら、3日でもよから天下を取るような立派な男の子を授けてください」と祈ったと伝えられている「行徳岩」がある。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>桔梗塚は岐阜県内に複数ある明智光秀生誕の地と呼ばれている一つであり、2020年大河ドラマ「麒麟がくる」に向けて、様々なイベントを行い誘客に向けた取り組みを行っているところである。</p> <p>令和元年度は山県市と山県市観光協会が連携し、「明智光秀ゆかりの地 お面をもって現地へGO!」というイベントを企画し、山県市内の公共施設や観光施設など配布されるお面をもって山県市内にある明智光秀ゆかりの地だけでなく、土岐氏ゆかりの地のほか、市内の観光スポットを訪れてもらい、その場にてお面と一緒に写真を撮りinsutaguramへ投稿してもらうものとなっており、SNSを通じて広く山県市をPRしていく内容となっている。なお、土岐氏は鎌倉時代から江戸時代にかけて栄えた武家であり、美濃国(現在の岐阜県南部と長野県の南西部地域の一部)を中心に栄えた軍事貴族の系統であり、明智光秀は土岐支流となる。</p> <p><将来></p> <p>2020年に大河ドラマの影響により全国より多くの観光客が見込まれている。令和元年11月29日には、岐阜県、滋賀県大津市)「大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会)、京都府福知山市、京都府亀岡市で構成される、大河ドラマ「麒麟がくる」岐阜滋賀京都連携協議会では、明智光秀ゆかりの地をめぐる岐阜・滋賀・京都観光ポータルサイトを公開し誘客に力を入れている。</p> <p>これまで、山県市には高速道路のインターチェンジがなく、観光客より敬遠されがちであったが、2020年3月に東海環状自動車道山県インターチェンジの開通が予定されていることから、これまでより広域的に観光客を呼び込める道路網が整備され、山県市も山県市観光協会と連携し明智光秀ゆかりの地を積極的にPRしていることから、今後さらに観光客の増加が見込まれているところである。</p>			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	黒野城跡公園	所在地	岐阜市黒野
設置主体	岐阜市	管理・運営主体	岐阜市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 3千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 黒野城は1594年(文禄3年)に加藤貞泰により築城された。現在は、「黒野城跡地」として岐阜市史跡に指定されており、公園として整備されている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 本丸跡地はグラウンドとなっており、幅約15mの水堀、高さ5m傾斜45度の土塁、石垣などに使われた石材が残っている。また、2013年より岐阜市により発掘調査が行われており、2015年には石垣列の南側より瓦の破片が出土し、城門などの構造物が存在していたことが明らかになっている。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 豊臣秀吉の家臣であった貞泰は父の死後、甲斐の国(現山梨県)から美濃の国へ移り、黒野城を築城している。貞泰は、関ヶ原の合戦では東軍の黒田長政、竹中重門とともに布陣し、勝利に貢献した。現在は「黒野城跡地」として岐阜市史跡に指定されており、公園として利用されている。 平成22年より歴史好きの地元有志や各分野の専門家が集まって「黒野城と加藤貞泰公研究会」(以下、「研究会」という)が発足しており、岐阜市や地元自治会の支援もと案内板の設置や城郭推定図の作成、歴史講座や紙芝居の作成・上演、子供向けのふるさと検定を実施している。これらの活動が認められ、平成25年にはまちづくり活動部門で岐阜市景観賞を受賞している。また、例年4月には地元市民により構成された「黒野城武将隊」も出演するイルミネーションを使用したイベントを開催している。 また、平成30年度に地元有志にて「黒野城主加藤貞泰と関ヶ原」という紙芝居を製作し、積極的なPRをしている。			
＜将来＞ 令和元年度には、岐阜大学地域学部と連携し「長良川おんぱく」というウォーキングイベントを開催し好評であったことから、引き続き来年度以降も企画を予定している。 さらに、これまでの研究会の活動は、令和2年度に整備される「岐阜関ヶ原古戦場記念館」や大河ドラマ「麒麟がくる」の影響もあり地元新聞やCCNチャンネルにも取り上げられており、現在も関ヶ原関連イベントに加藤貞泰及び黒野城のPRのためブースを設けてPRを行っていることから、今後観光客は更なる増加が見込まれているところである。			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	岐阜城	所在地	岐阜市金華山天守閣18
設置主体	岐阜市	管理・運営主体	岐阜市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 241千人		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>岐阜城は、かつて稲葉山と称し、戦国時代には、斎藤道三公の居城でもあった。特に岐阜城の名を天下に示したのは、永禄10年(1567年)(一説に永禄7年)8月、不世出の栄傑織田信長公がこの城を攻略し、この地方一帯を平定するとともに、地名も「井の口」を「岐阜」と改称し、天下統一の本拠地としてからである。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>岐阜城は現在築城されている城郭のうちでは、有数の高さ(標高329m)にあり、最上階からは、眼下に鶯飼で有名な清流長良川が市内を貫流し、東には恵那山、木曾御岳山が雄大な姿をみせ、北には乗鞍、日本アルプスが連なっています。また西には伊吹、養老、鈴鹿の山系が連なり、南には濃尾の大平野が豊かに開け、木曾の流れが悠然と伊勢湾に注いでいるさまを一望できることから来客も多く、道路整備によるアクセス向上を図る。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>平成23年に岐阜城を含む金華山一帯を「岐阜城跡」として、国の史跡に指定されており、また、平成27年には「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜として日本遺産にも認定されている。織田信長ゆかりの地及び、岐阜城天守閣からの眺めは絶景スポットとして大変人気があり、県内外を問わず、海外からの観光客も多く訪れている。山頂の岐阜城までは金華山ロープウェイが整備されており子供からお年寄りまで訪れることができる。また、登山道も整備されており、地元住民がウォーキングコースとしても多く利用している。</p> <p><将来></p> <p>昨年度より、SNSを使った観光客誘致を目的とした「GIFUスマイルフォトスポット」という取り組みを実施している。その第一弾として、岐阜城資料館にトリックアートを設置・展示している。現在と戦国時代がチグハグになった世界を表現しており、「美濃を制すものは天下を制す」と言われた稲葉山城(現 岐阜城)を織田軍として攻略するトリックアートである。また、金華山ロープウェイ山頂駅のトイレを「また訪れたい観光トイレ」として、鶯飼籠や岐阜提灯をイメージした内装へリニューアルしている。これらのように、観光客誘致のために整備を進めていることから、今後さらなる観光客誘致が見込まれる。</p>			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	墨俣一夜城	所在地	大垣市墨俣町
設置主体	大垣市	管理・運営主体	大垣市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 32千人		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 墨俣一夜城は、永禄9年(1566年)、木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜にして築いたと伝えられる墨俣一夜城を、城郭天守の体裁を整えた墨俣一夜城(歴史資料館)として平成3年4月に開館している。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 墨俣一夜城の周りを流れる犀川の堤防沿いに、約1000本の樹齢50年を超えるソメイヨシノの桜並木が2kmにわたり続いており、城と桜が見事に調和した風情がある景観を醸し出している。飛騨・美濃さくら33選にも選ばれ、ライトアップされた墨俣一夜城を背景にした桜は遠方からの来客も多く、道路整備によるアクセス向上を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 墨俣一夜城は、豊臣秀吉が一夜にして築いたと伝えられている。 桜の見ごろは3月下旬～4月上旬であるが、歴史資料館は通年で拝観することができる。平成30年度は大垣市政100周年記念市民提案事業として、「墨俣一夜城さくら色ライトアップ」を夏と冬の2回実施している。また、地元まちづくり協議会にて「歩くまち墨俣」ビジョンを策定しており、城下町の街並み整備や「歩くまち墨俣ふるさと景観カルタ」を作成し、桜の季節以外の観光客集客を図っている。			
＜将来＞ 日本三大英傑である豊臣秀吉のゆかりの地として、関ヶ原関連イベントを利用して誘客を図っている。 また、平成29年度から行われていた一夜城址公園周辺の犀川堤の工事が今年度終了し、さい川さくら公園と出世橋南詰の間を、新犀川橋下の河川遊歩道で通行できるようになった。これにより、新たな景観スポットが生まれたことから、桜の季節はもちろんであるが、その他の時期においても観光客の増加が見込まれているところである。 また、墨俣一夜城は豊臣秀吉が築城したとされていることから関ヶ原の合戦とも関係は深い。そのため、関ヶ原の関連イベントとして現在「西美濃KAMON(家紋)スタンプラリー」の会場の一つとして取り上げられており、今後も関連イベントが企画されている。			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	千代保稲荷神社	所在地	海津市平田町
設置主体	千代保稲荷神社	管理・運営主体	千代保稲荷神社
拠点施設の区分	観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	観光案内 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 1700千人		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画>			
「おちよぼさん」の愛称で親しまれており、八幡太郎源義家の六男、義隆が分家する際、森の姓を授かり、先祖の霊璽、宝剣、義家の肖像などを「千代代々に保っていけ」と賜った。その後、今から550年ほど前の文明年間に、義隆の子孫 森八海がこの里を開墾し、義家から伝わる零璽を祀ったのが神社の始まりである。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性>			
商売繁盛・家内安全にご利益がある神社として知られ、県内への観光入込客数の増加を図る一端を担うことが可能である。また、これまでの日帰り・通過型旅行から宿泊・滞在型旅行への向上が期待できるため、昇龍道の観光ルートとして整備を行う。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況>			
千代保稲荷神社は商売繁盛・家内安全にご利益のある神社である。 正月三ヶ日や月末月始の月例祭や10月の秋季大祭など年間を通じて祭事や行事が行われており大変賑わっている。特に毎月末(晦日)から翌一日にかけての月越参りでは、夜通し多くの参拝客で埋まっている。1年を通じて、自営業の方を中心に県内外から多くの参拝者が訪れ、門前町の趣を持つ参道は、120件ほどの店が軒を連ね縁起物を扱う店舗や川魚料理や漬物、串カツ、草餅など店がひしめき合うように立ち並び、土日祝日だけでなく常時観光客でにぎわっている。参道散策MAPも作成しており、更なる参拝客の集客を進めている。			
<将来>			
平成21年度に東海環状自動車道東回りが全線開通し、順次西回り区間の整備が進められている。令和元年度に西回り区間の一部(関広見IC～山県IC及び大野神戸IC～大垣西IC)の供用が予定されており、令和6年度には西回り区間の養老IC以北区間については全ての区間で開通が予定されている。これらのように整備が進むことで、今後さらに県外からの観光客の増加が見込まれているところである。大河ドラマや関ヶ原の戦いから420年となる2020年度には、岐阜県の特に西濃地域への観光客が増加することが見込まれる。千代保稲荷神社は西濃地区有数の観光地であることから、来年度以降、大河ドラマなどの影響により観光客の増加が見込まれる。 さらに海津市では、平成30年度に観光案内所を設置し、観光協会により、平成31年度からデジタルサイネージの導入を行い観光案内を強化している。これらの取り組みにより案内所を訪れる来訪者が増加し、観光PRが効果的に実施できている。観光PRの成功により、来訪者のリピートや口コミ等による波及効果も期待され、今後ますます来訪者が訪れることが期待されているところである。 また、観光案内所を運営する観光協会において、同手法を活用した新たなPRを検討しているところであり、さらなる観光客の来訪が期待されている。			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	西高木陣屋	所在地	大垣市上石津町
設置主体	大垣市	管理・運営主体	大垣市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 33千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ (無)	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画> 西高木家陣屋は多良郷にあった平城である。別名を多良城、多羅城、高木陣屋とも称されており、平成26年度に「西高木家陣屋跡」として、国の史跡に指定されている。高木家は、斎藤道三・織田信長に仕え、美濃南部の駒野・今尾を拠点としていた。一時は甲斐の国(現山梨県)に赴きましたが、関ヶ原の合戦の功により慶長6年(1601年)に美濃の時・多良(現大垣市上石津町)の地を拝領し入郷、西高木家、東高木家、北高木家三家それぞれで陣屋を構えた。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 拠点施設間の交通を円滑化するため、交差点改良を行い、増加が予想される観光客に対し対応する。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況> 西高木家陣屋は2020年に大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀の生誕地については諸説あるが、生誕地の一つとして考えられている。城郭を思わせる石垣や陣屋跡の長屋門も資料館の景観に取り込み、6世紀の「二又古墳群出土遺物」や、上石津地域全域から発見された石器のほか、民俗資料、貴重な動物のはく製や標本も幅広く展示している。</p> <p><将来> 平成31年3月より西高木家陣屋跡内にある上石津郷土資料館において、特別企画展「明智光秀生誕の地多良城」を令和元年12月までの長期間開催し、観光客の集客に力を入れている。また、月間漫画雑誌「ヤングキングアワーズ」にて連載している「ドリフターズ」と大垣市が連携し、「ドリフターズin大垣2019スマホスタンプラリー」を開催しており、その中の一つの観光施設として「西高木陣屋跡」が入っている。このように関ヶ原の合戦や大河ドラマと連携したイベントを今後も予定しており、更なる観光客の増加が見込まれるところである。</p>			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	池田温泉	所在地	揖斐郡池田町
設置主体	池田町	管理・運営主体	池田町
拠点施設の区分	観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	観光案内 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 473千人		
拠点施設の整備の有無	有・無	整備期間	令和元年5月～令和元年12月
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 池田温泉は、道の駅池田温泉等を併設した温泉で、重曹以外の成分をほとんど含まない全国的にも大変珍しい純重曹の温泉(「アルカリ性単純温泉」となっている。この泉質は、美肌効果を期待できるだけでなく、刺激が少なく体にやさしい温泉である。 ＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該温泉は、美肌の湯としても人気で、地域だけでなく、関西や名古屋からも集客することが可能な温泉施設である。当該施設は、道の駅も併設しており、目的地としての機能のみならず、観光バスの休憩所としても利用できる施設としての誘客も可能であることから、道路整備によるアクセス向上を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 池田温泉は、全国的にも大変珍しい純重曹の温泉であり通年で開業している。また、道の駅を含めイベントを行い、誘客を図っており、温泉シーラリーゆらんの泉質が良かった温泉ランキングにおいて第1位を獲得しているなど、全国的にも良質な泉質である。 また、宿泊施設も整備されており、さらには、けがや病気、高齢等で身体的に体が不自由な方にも温泉を利用してもらえるように「ふくしの湯」という施設も併設し観光客の誘致に力を入れており、令和元年6月に総入浴者数1,100万人を達成している。 当該施設に隣接している「道の駅 池田温泉」には観光レンタルサイクル「養老トレクル」が設置されており、西美濃ツーリズムのサイクリングコースも設定されていることから、年間を通じて観光客でにぎわっている。 ＜将来＞ 近年では日帰り温泉だけでなく、宿泊者も増加していることから、令和元年5月から食事処と宿泊施設の増設を行っている。これにより、さらに県内外を問わず観光客の増加が見込まれているところである。 また、今年度より西美濃の温泉施設と協力して、「西美濃御湯印めぐり2019」を実施しており全国に向けて池田温泉を中心とした西美濃温泉施設のPRしており、メディアでも紹介されていることから観光客の誘致を行っているため、今後さらなる観光客の増加が見込まれているところである。			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	伊吹山ドライブウェイ	所在地	不破郡関ヶ原町
設置主体	伊吹山ドライブウェイ	管理・運営主体	日本自動車道株式会社
拠点施設の区分	観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	地域固有の自然体験の提供 (法第二条第一項第一号口)
拠点施設データ	観光客数 : 150千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 伊吹山は滋賀県米原市、岐阜県揖斐郡揖斐川町、不破郡関ヶ原町にまたがる伊吹山地の主峰(最高峰)標高1,377mの山である。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 伊吹山の一等三角点が置かれている山頂部は滋賀県米原市に属し、滋賀県最高峰の山であり、山域は琵琶湖国定公園に指定されている。1965年に伊吹山ドライブウェイが開通すると、9合目まで容易に登れるようになり、山頂部は観光地として有名になった。今後、更なる観光客の増加が見込まれることから道路整備を行いアクセス向上を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 伊吹山の自然環境保全のために、平成21年度より「伊吹山を守る自然再生協議会」が設立されており、滋賀県及び岐阜県の関係部局や地元自治体、さらには学識経験者や地元企業を構成員とし、伊吹山の環境保護について議論が行われている。また、伊吹山ドライブウェイのHPにおいては各種イベントや山頂散策マップ、季節ごとの見ごろの植物を紹介しており、観光客の集客に力を入れている。 さらに伊吹山山頂は全国に約100ヶ所ある「恋人の聖地」の一つであり、山頂には「恋慕観音像」や「覚心堂」があり、多くのカップルでにぎわっている。			
<将来> 2020年に大河ドラマの放送や、伊吹山ドライブウェイの入り口付近にある関ヶ原歴史民俗資料館など関ヶ原の合戦にゆかりのある施設が複数あり、2020年に関ヶ原の戦いから420周年を迎えるにあたり、岐阜関ヶ原古戦場記念館の整備や各種イベントを関連自治体が主体となって行っていることから、周辺の施設への観光客は増加することが見込まれているところである。 また、伊吹山も織田信長とかかわりがあることから、関ヶ原の戦いに関する施設やイベントに参加した観光客が足を運ぶことが想定され、伊吹山への来客数も増加することが見込まれる。 伊吹山ドライブウェイは冬季通行止めとなるが、滋賀県、岐阜県両県ともにスキー場が整備されており、特に滋賀県のスキー場においては駐車場拡大や新エリアの整備など積極的に観光客の増加に向けて取り組みを行っていることから、一年間を通じて観光客増加に力を入れている。			

(確認様式1)

拠点施設に関する事項

施設名	揖斐高原貝月リゾート	所在地	揖斐郡揖斐川町日坂
設置主体	一般財団法人 いびがわ	管理・運営主体	一般財団法人 いびがわ
拠点施設の区分	観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	地域固有の自然体験の提供 (法第二条第一項第一号イ)
拠点施設データ	観光客数 : 45千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ (無)	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 伊吹山地にある貝月山(標高1,234m)の麓に整備されたスキー場、キャンプ場、釣り堀、テニスコート、コテージなどが整備されたリゾート施設となっている。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 年間を通じて観光客が訪れている施設であり、東海環状自動車道の整備により名古屋などの都市圏からの観光客が訪れることが予想されていることから、道路整備を行いアクセス向上を図る。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<現況> 伊吹山地にある貝月山の麓に整備されたスキー場、キャンプ場、テニスコート、コテージ等が整備されたリゾート施設となっている。 グリーンシーズンは、キャンプを中心として使用されており、ウィンターシーズンについては、スキー場として使用されている。特にウィンターシーズンについては、2つあるスキー場の一つをそり専用ゲレンデとするなど、子育て世代の集客に力を入れている。 岐阜県では、県民協働による森林づくりの一環として、平成19年度から「企業との協働による森づくり」を推進しており、平成27年度より岐阜県、揖斐川町及び大垣共立銀行の3者により「OKB森林共和国における恵みの森林づくり協定」を締結している。この中で、再生する森林を「OKB森林共和国」と命名し木々の植樹や保育、地域内外の人々との交流イベントを開催している。			
<将来> 今年度も「新緑祭り2019」及び「OKB共和国 秋祭り」を開催されており、イベントの内容は、植樹活動をはじめ、宝さがし、キッズ向け木工体験、ゲレンデで芝ソリ滑りなど子供が自然と触れ合うことができる内容となっている。本イベントにより子育て世代の観光客の集客に力を入れている。また、ウィンターシーズンにおいても、リフト券を中学生以下無料にしており、子育て世代の集客に力を入れていく。			

(確認様式3)

道路

都市計画道路名又はその他道路名 注1)	番号	区間	道路区分 注2)	事業主体	事業手法 注3)	工種	延長 m	車道幅員		車線数		歩道幅員		交付事業費 百万円	交付事業における事業期間 (年度)	事業内容 注4)	都市計画決定 年月	広域的特定活動に伴う 人流・物流との関係性		整備効果等 注6)	供用等 注7)	備考 注8)
								整備前 m	整備後 m	整備前 車線	整備後 車線	整備前 m	整備後 m					自 (拠点施設)	至 注5)			
<道路>																						
一般国道 157号	A11-001	能郷	国	岐阜県	-	改築	900	4.0	5.5	-	2	-	-	500	R2~R6	バイパス整備	-	徳山ダム	桔梗塚	未改良区間(L=0.9km)の解消	完成供用L=0.9km(R7.3月予定)	T15=1,303台/日、K=5.48
一般国道 417号	A11-002	横山鶴見Ⅱ期	国	岐阜県	-	改築	200	4.0	5.5	1	2	-	-	1,650	R3~R6	バイパス整備	-	木之元宿	徳山ダム	すれ違い困難箇所の解消	完成供用L=0.2km(R7.3月予定)	T15=1,555台/日、K=1.20
主要地方道 岐阜県中府線	A11-003	府中・伊吹	地	岐阜県	-	改築	3,220	7.5	12.0	2	4	-	5.5	1,000	R2~R6	車道拡幅(1車線→1車線)	-	池田温泉	池田温泉市民体育館	時間短縮(30分→25分)	完成供用L=1.0km(R7.3月予定)	T15=9,093台/日、K=1.28
主要地方道 岐阜美山線	A11-004	梅原	地	岐阜県	-	改築	800	4.5	6.0	1	2	-	2.5	600	R2~R6	車道拡幅(1車線→2車線)	-	桔梗塚	黒野城	未改良区間(L=0.80km)の解消	完成供用L=0.8km(R7.3月予定)	T15=3,350台/日、K=1.25
主要地方道 岐阜美山線	A11-005	安食・岩利	地	岐阜県	-	改築	1,710	3.0	6.0	1	2	-	2.5	1,200	R2~R6	バイパス整備	-	桔梗塚	黒野城	未改良区間(L=0.82km)の解消	完成供用L=1.71km(R7.3月予定)	T15=3,727台/日、K=1.26
一般県道 大垣江南線	A11-006	森部	地	岐阜県	-	改築	280	5.5	6.0	2	4	-	-	650	R3~R6	バイパス整備	-	墨俣一夜城	千代保稲荷神社	未改良区間(L=0.4km)の解消	完成供用L=0.63km(R7.3月予定)	T15=11,956台/日、K=1.29
一般県道 安八平田線	A11-007	三郷	地	岐阜県	-	交安	260	7.5	9.5	2	2	-	3.5	100	R2~R4	交差点改良	-	千代保稲荷神社	西高木家陣屋跡	右折レーンの確保	完成供用L=0.26km(R5.3月予定)	T15=7,818台/日、K=1.28

(参考)

<関連事業>																						

※本調査にはア)交付対象事業「道路」(補助国道、地方道、街路)、イ)関連事業の道路のすべてを記載すること。

注1)道路名は、国道、主要地方道、一般都道府県道、市町村道の別が分かるように記載すること。

注2)国、地、街、他の別を記載。ただし、国:国道、地:地方道、街:街路、他:いずれにも該当しないもの。

注3)<関連事業>については、通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注4)施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注5)要素事業毎に、どの拠点施設を経る人流・物流の経路(他の拠点施設、I.C等)途上の事業なのかを明確にすること。

また、別添「確認様式4 道路概要図」に要素事業及び拠点施設の位置関係が分かるように図示すること。

要素事業にはそれぞれ上表の番号(整備計画の番号)を付すこと。また、拠点施設については、それぞれ施設名、所在地、施設数、入込客数などの概要を記載すること。

注6)5で記載した拠点施設間で行われる当該要素事業による整備効果を簡潔に記載すること。記載にあたっては、「所要時間が○分→○分に約○分短縮」、「拠点施設間唯一の線形不良(R<○)の解消」など具体的に記載すること。

注7)当該要素事業の供用等(部分供用含む)を記載すること。記載にあたっては、「全線完成供用L=○m(R○.○予定)」、「部分供用L=○m(R○.○目途)」など、供用形態、区間延長、供用時期を記載すること。

注8)備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(台/日)、混雑度等を記載。また、別添「確認様式4 道路概要図」にも主要ポイントの交通量を記載すること(要素事業箇所直近は必須)。

(例)・道路改築:交通量(台/日)、混雑度等 ※交通量は最新のセンサスデータを用いて記載すること。

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

<関連事業>の備考には、当該関連事業と組み合わせる効率的・効果的に実施する交付金事業の道路名・区間についても記載。

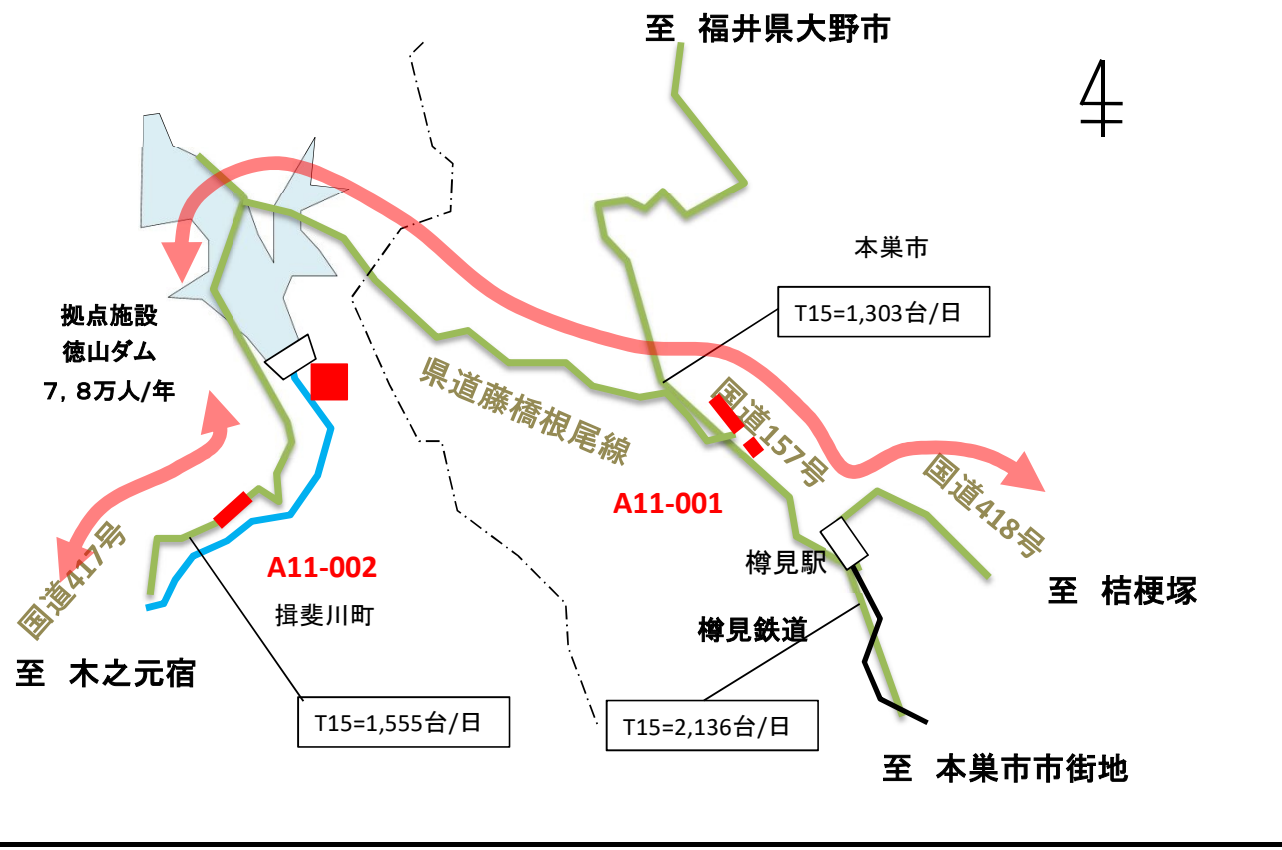
※不足する場合は適宜行を追加すること。

※地域高規格道路、連続立体交差事業等の交付期間(3~5年)内に一定の成果をあげることでない大規模な事業は、交付対象外。

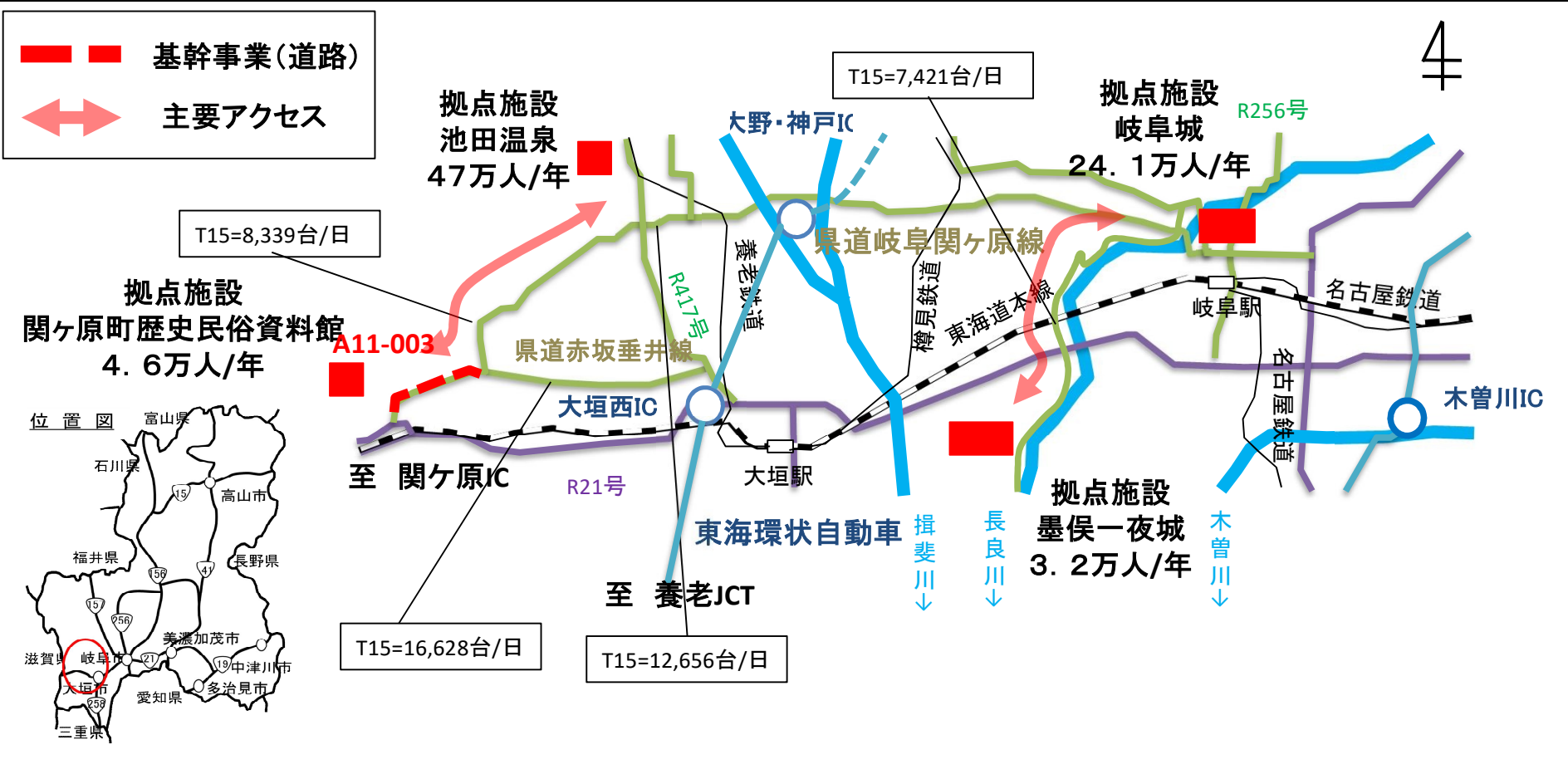
岐阜・滋賀地域(岐阜県) 道路概要図

4

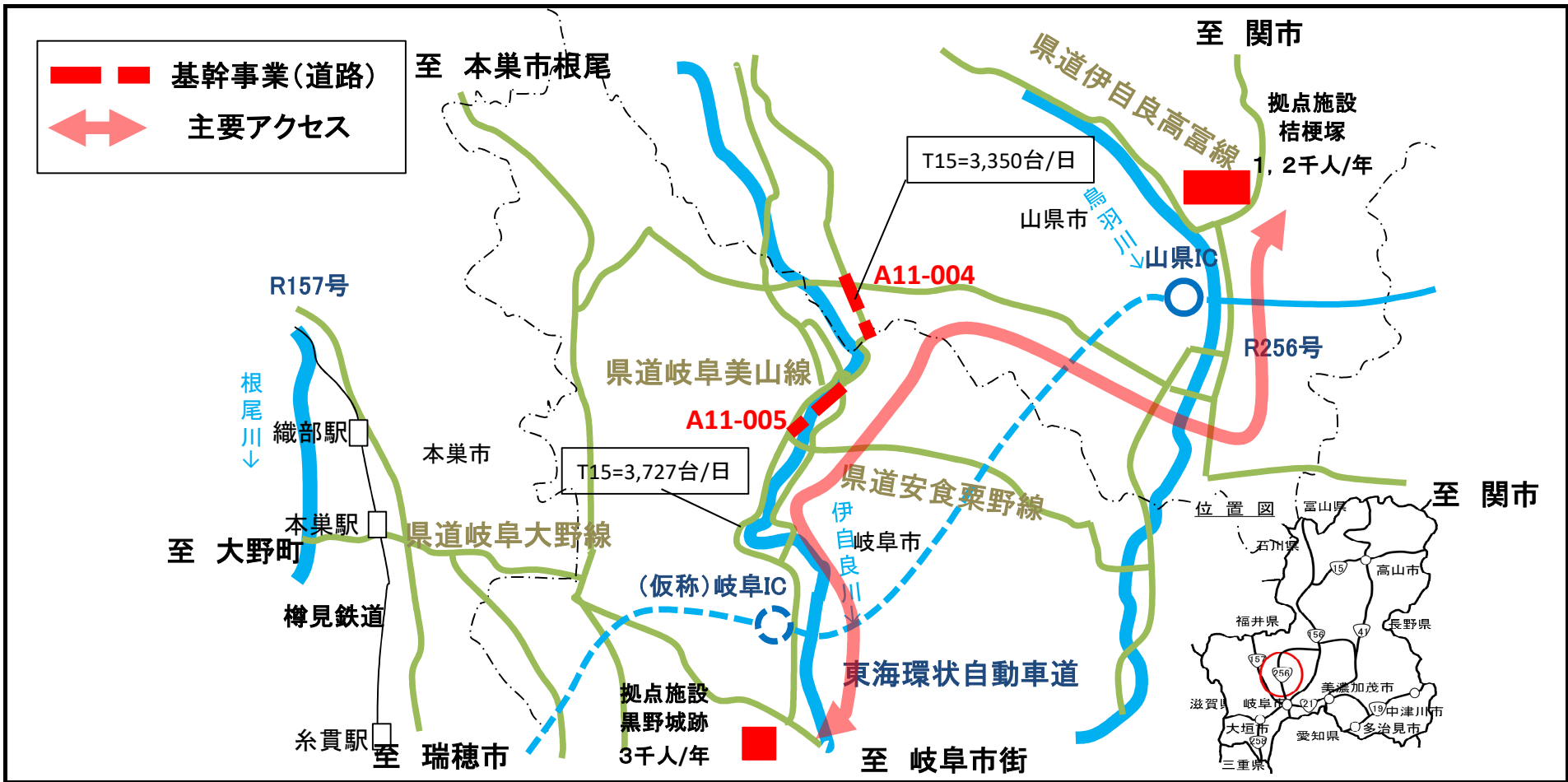
■ ■ ■ 基幹事業(道路)
↔ 主要アクセス



岐阜・滋賀地域(岐阜県) 道路概要図



岐阜・滋賀地域(岐阜県) 道路概要図



(確認様式1)

岐阜・滋賀地域(岐阜県) 道路概要図

